

令和4年7月15日

意見発表

鈴木委員

私からは数点、意見を述べさせていただきます。

まず、私は今回質疑をやらせていただいて、2点ほど、局全体について意見を言わせていただきたい。

第1点目は、失礼ですが、全部とは申し上げないけれど、いろいろな施策を見ても、みんな要するに実証だとかイベントだとか、出てくるのがそういう点なんです。失礼ですが、本来ならば、点から面にさせるのがあなた方行政の仕事で、面イコール税金を頂いて、こういう形でもって施策を行いました。これは県民の方々の安全・安心並びにどれだけ豊かになるかという付加価値をつけて返すというのが、本来の行政の在り方だと思う。ところが、どうお話ししてみても、これをやりました、あれをやりました、それがどうなったんだと。その中にはロボット等々が10年もかかって何か分からないというものがある、いまひとつ、点から面へという観点をしっかり入れた形で、行政を進めるべきだろうというのが1点。

2点目はEBPM。たしか去年度か何かでもって財政が、これからしっかりエビデンス・ベスト・ポリシー・メイキングをやりますというようなことを書いていて、それを我々は多分見た。産業労働だから、労働のほうはあまり言えないと思うけれど、産業の施策はせめてEBPMをやりなさいよ。話を見てみても、何かただらと文章だけ書いてあって、バラ色のような文章が書いてあるけれども、それでどうなっているんだというようなものがなかなか見えない。それは何なのかって言うと、EBPMという観点から施策というようなものが出され、金がどのようになっていったかというのが見えないからだというふうに思っていますので、この2点ほど、局長を中心にした局の全体の皆さん方に、ひとつお願いしたいというのが第2点。

各論にいくと、まず、かながわPayのほうは御苦労さまです。100万ダウンロードというようなことを声高におっしゃっているけど、現実に使っているのはそこまでいかない。せめて、ダウンロードした方たちが活用できるような施策をしっかりと進めていただきたい。同時に、私は質疑の中でも申し上げましたけれども、やはり各店舗の中で三角形の二次元コード、それが置かれている店もあれば、置かれていない店があって、そういう二次元コードの在り方、要するに、利用者にどう便利に、また、店舗の方々がそれをしっかりと掲示していただけるようにしていただきたい。Pay Payから何から店の前に行くとなんと貼ってある。その中に、わざわざこの三角形のものを出して、やらないところも、そんなスペースもないところもあるので、その一つの在り方というようなものについて、いまひとつ、また手を打っていただければありがたいというふうに思います。

2つ目はロボットについて。質疑をやらせていただいて、私も短い時間で3

問もやっちゃったから、言うことが言えなかった。申し訳ないですけども、行政ってすごくありがたいところだなと思ったの。ありがたいというのは変な意味じゃないですよ。皆さん方にありがたいと言っているんじゃないで、やったことに対する総括というのは別になくたって、次またいくわけだよ。特にさがみ産業ロボット特区なんていうのは、申し訳ないけれども、私が介護ロボットから始まった十数年からしたって、いまだにこういうことやっている。私が一度お聞きしたかったのは、実証フィールド。私も行ってみたけど、単なる学校に、ドローンが外に出ないように網だけかけているだけなんじゃないの。申し訳ないけど、ソフトボールか何かのボールが外へ飛ばないようにやる以外に、何を使ってフィールドにしているんだろうと、私は逆に聞いてみたかった。そういうの見てみると、それこそロボットそのもの自体を、これからどういうふうに面にしていくのかというようなことを、しっかりと施策の中で推進していただかないと、最初的时候には、さがみ産業ロボット特区なんて、アトムが元気いっぱい出ている、旗ばっかりいっぱい出ているけれども、その内情って何なんですかと言ったら、いつまでたってもあまり見えないというような思いがするので、ぜひともロボットについては、そういう点から面へしっかりと形にしていきたい。

3つ目には神奈川職業能力開発計画。これについてちょっと質疑をやらせていただいた。私が10次の総括がないじゃないかと言ったところ、課長が市議会のものもひっくるめてホームページに掲載されていると言ったけど、申し訳ないが、そんなところまで見るような県民は基本的にはいないと思いますよ。わざわざ計画で出すんだったら、きちっとした前期の反省があって、次の計画があるべきでしょう。それをしっかりまた書き込むべきだというふうに、一つ入れておきたい。また、今、メンバーシップ型からまたジョブ型とか、またリスクだ、リカレントだとかいろいろ言われている中で、令和7年に向かって、どのような未来を描いてこの施策を打ったのかというようなことを、きちっとやっぱり私は書くべきだろうというふうに思いました。それが無いがゆえに、EBPMとさっきから私が言っていますが、施策を見ても、いろんなことがいっぱい書いてあるんだけど、先行会派の方もおっしゃっていたように、何がしたいか分からない。バラ色にいっぱい書いてあるけれど、そこに数値があるわけでもなければ、具体的なゴールが見えないというような思いがいたしました。しっかりそのところ、もう一度また見直していただいて、対応方お願いしたいと思います。

以上で公明党県議団として、議案に賛成をいたします。